

令和3年5月27日に実施された、全国学力学習状況調査の結果分析・考察を行いました。

国語がほぼ全国平均、数学は全国平均をやや上回る結果でした。各教科の傾向と、質問紙調査から見えてきた課題等を示しています。

全国学力・学習状況調査結果分析・考察

実施対象：3年生 実施教科：国語、数学

○教科の結果分析・考察（国語）

良かった点

- ・漢字の読み、意味、敬語の使い方など言語の領域で県・全国を上回ることが多かった。
- ・選択式よりも単答式の正答率が高く、記述式への意欲もあった。

改善点

- ・「書くこと」において、書いた経験のある文章なら書けるが、そうではないものについては書こうとする意欲が少ない。
- ・国語を学習することの有用感はあるが、教科としての国語の学習に抵抗感があり、積極的に文章を読んだり書いたりすることはほとんどない。
- ・文章表現などについて、読書をするに個人差があるため読み取りの力に個人差が見られる。

○教科の結果分析・考察（数学）

良かった点

- ・数と式、資料の活用の領域が県・全国を上回っている
- ・数学的な技能、知識・理解の観点で県・全国を上回っている

改善点

- ・選択式の正答率が高い反面、記述式の問題において正答率が低くなる
- ・数学を学習する意味、有用感が低い また、数学を日常生活で活用しようという意識が低い
- ・解き方、考え方をノートに記録する習慣がついていない

○国語、数学以外の授業で感じる課題と、その対応について（実践していることも含め）

課題

- ・問題の読み取りができていないのかという読解力
- ・意見は言えるが、深め合う話し合いができていない。

授業改善や対応

- ・聞く姿勢を整える指導、話し合いの進め方マニュアルの活用
- ・教師が話しすぎない授業の実践。

質問紙調査等からの結果分析

(6)自己肯定感が低い (7)将来への展望が見いだせていない (9)失敗を恐れ積極性が乏しい
(13)学校に魅力を感じていない (31)相手を受容したコミュニケーションが苦手 (34)既習事項を生かした学習経験が乏しい (40)(41)生徒主体の話し合い活動経験値が低い

授業や全ての教育活動において学校全体で取り組めること

- ・自己肯定感が低い、人間関係の再構築をしていくために新しい仕掛けをしていく。
(例：地域に出てボランティア活動を計画。(コロナの影響も考慮して))
- ・クラスの雰囲気作り、レクリエーション大会の実施等